

一腎不全の猫 シロちゃん

15歳になる高齢猫シロは、慢性腎不全と診断され、腎臓の数値が高く(BUN 54.4、CRE 3.6)体重もどんどん減ってきて、食事をしてても嘔吐を繰り返すようになってしまいました。

動物病院で、皮下輸液の治療を受けることになり、進行が早いということと食欲や元気にどうが大きくなり、なにか手立てはないかと藁にもすがり思いでインターネットでいろいろ調べて、いろいろな動物たちの書き込みを見つけて、どうぶつ気功院に相談することにしました。

シロの介護に必死になる毎日が続き、「いっしょにいられる幸せ」という一番大切なものと、その「愛しい時間」に気付かされるきっかけでした。遠隔での気功治療をはじめた数日後、140以上もあったBUNの数値が安定し始め、獣医さんが驚くほどの変化があり、食欲も戻りはじめ食事をとれるようになったので体重も戻りはじめたのです。

その後も、昔のような元気を取り戻したかのようなシロちゃんも、急に体調を崩してしまい寝たきりになり、動けなくなってしまいました。最後の最後まで、シロちゃんが旅立つまでの闘病日記を送っていただきました。